

### **Honda が「人的資本調査 2025」において 「人的資本経営品質（シルバー）」を 2 年連続で受賞**

Honda は、人的資本経営およびその開示の取り組み状況を評価する「人的資本調査 2025<sup>※</sup>」において、「人的資本経営品質 2025（シルバー）」を受賞しました。これは、2 年連続の受賞となります。



## 人的資本経営品質 2025

「人的資本調査 2025」は、人的資本経営と開示の両面から人的資本に関する取り組みを総合的に評価し、先進的な企業を選定・表彰するものです。調査への回答結果を定量的に分析し、一定の水準を超える取り組みを行っていると思われる企業・団体が「人的資本経営品質」として選定され、なかでも取り組み水準が高い企業はゴールド・シルバーランクに選定されます。

Honda は、「Honda フィロソフィー」の基本理念である「人間尊重」をベースに、「主体性」「公平」「相互信頼」を人事の 3 原則として、従業員一人ひとりの意欲や能力を高める環境づくりと、持てる力を発揮できる職場づくりに力を注いでいます。Honda の人的資本経営とは、全社の方針である「自由な移動の喜びをサステナブルに創造し、夢に向かって動き出す人のパワーになる」ことを目指し、事業戦略の到達点からバックキャストした将来必要な人材ポートフォリオを形成していくことです。

モビリティの変革期において、Honda が社会から“存在を期待される企業”であり続けるためには、一人ひとりの夢を起点とした価値創造が必要になると考えています。これを実現するために達成すべきテーマとして、中長期の視点から「従業員の内発的動機の喚起と多様な個の融合」、短中期の視点から「事業上の注力領域の人材の量的・質的充足」という 2 つの人材マテリアリティを

設定しています。それぞれのマテリアリティが達成された状態を定義するとともに、それに  
ひも付く定量的な目標を管理指標として設定し、経営メンバーによる定期的なモニタリングを  
実施することで、実効性のある施策をスピーディーに展開していきます。また、人的資本開示にも  
積極的に取り組んでおり、ファクトに加え、経営戦略・事業戦略との連動性や、その改善  
プロセスも公表しています。

Honda はこれからも“存在を期待される企業”であり続けるため、チャレンジ・融合・成長の  
サイクルを高速で実行し、一人ひとりの夢を起点とした価値創造を実現していきます。

※ 主催は一般社団法人 HR テクノロジーコンソーシアム、HR 総研（ProFuture 株式会社）、一般社団法人人的資本と企業価値  
向上研究会。2025 年 9 月 10 日～12 月 8 日に 316 社が参加しました。



Honda の人的資本経営の考え方